



JAPAN
MARROW
DONOR
PROGRAM

安全情報

2003 年 3 月 25 日

(財) 骨髄移植推進財団
認定施設連絡責任医師 各位

財団法人 骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会

骨髄採取ドナーの自己血を誤って凍結した事例について(報告)

このたび、採取前日に骨髄提供ドナーの自己血を凍結保存し骨髄採取時に返血できなかった事例が報告されました。採取施設からの報告によれば以下のような概要です

<経過>

採取前日にスタッフが病棟に運搬後、冷凍保存し使用不可となった。

予定採取量 900cc 採取が困難となり、循環血液量の 10% 以内 700cc に採取量変更。

(財団との協議の上)

骨髄採取量は、654cc となる。

採取後のドナーの全身状態は良好で翌日退院となる。

<再発防止策>

採血した自己血は血液製剤保管管理マニュアルに従い輸血部門で保管し、病棟などでは保存はしないこと。

自己血の出庫まで、適正な保存温度で保存すること。

以上ご報告申し上げます。

財団法人骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会
(事務局 担当:折原)
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町 3-19
廣瀬第2ビル 7 階
TEL 03-5280-2200
FAX 03-5283-5629
E-mail: orihara@jmdp.or.jp